



宮崎県 株式会社西の丸
「地域に密着した社会貢献活動」事業



株式会社西の丸
代表取締役会長
西谷栄一さん

感謝・報恩の心を基本に
地域のために尽くす

「一善の会」を掲げて地域の清掃美化に汗を流す
宮崎県東臼杵郡門川町に本社を置き、県内を中心にホールを展開する「西の丸」では、1976年の設立以来、「お客様が喜ばれる姿を見て我が喜びとする」ことを原点に、“感謝”と“報恩”の心を基本に行動することを重視している。

それを具体的に行動で表わすように、西の丸では社員一丸となって、社会福祉団体などへの寄付活動、災害復旧支援、防犯・交通安全への協力、アフリカ・ケニアへの支援、地域行事への参加、周辺地域の美化・植栽清掃、高齢者在宅環境清掃など、数々の地域貢献・社会貢献活動を年間を通じて実行している。しかもこれらは何年にもわたって継続されているものが多い。

そうした活動は従業員の人間形成や日常業務にも役立っていると思われ、お客様への優しい言葉掛け、細かい気配りやきちんとした接客ぶりを見たり、また、ボランティア活動の取り組みにも魅力を感じたお客様が自分の子どもを連れてきて、「うちの子もここに就職させてください」と申し込んだというエピソードが残されているほどである。

西の丸の地域に密着した社会貢献活動の核となるのが、1994年に始めた「一善の会」である。これはお客様や地域社会、自分たちを取り巻く自然に対する感謝と報恩を伝える活動としてスタートしたもので、地域の美化・清掃を中心とした活動である。

毎月、延岡市、日向市、門川町、川南町、都農町などの道路、公園、駅、漁港、海岸、公共施設などで清掃（ゴミ拾い、除草）、花壇の手入れ・植栽（四季の花植えと手入れ）などを行っているが、西の丸では、この活動のために4名の専従社員を雇用しているうえ、全社員とその家族たちの自主参加もあり、延べ参加者は多人数に及ぶ。地域住民や行政から高く評価されているほか、長年にわたって海をきれいにする活動を行ったということで、昨年は国土交通大臣表彰を受け、今年には「みどりの愛護」功労者同



年間を通じて行っている在宅清掃支援活動



除草、花壇の手入れなど、毎月行っている地域の美化・清掃活動



大臣表彰を受けている。

子どもたちや高齢者を対象に数々の貢献活動

寄付活動では、青少年を対象としたものが目立っているが、その寄付の基となっているのは、1977年から店内カウンターに設置している「愛の玉手箱」という、お客様の募金を入れる募金箱である。そこに全社員からの寄付金、会社からの支援金を加え、1998年から福祉施設に入所する子どもたちに年2回（子どもの日、クリスマス前日）の祝い金を、さらに年末には親族や知人などに出すための年賀状を子どもたち一人ひとりの写真入りにして贈っている。

さらに1999年度から続けているのが、新入学児童に対するランドセルカバーの贈呈である。毎年、教育委員会を通じて新入学児童数を把握して反射材付きの黄色の蛍光ランドセルカバーを用意し、延岡・日向地区交通安全協会を通じて贈呈しているが、昨年度までの合計は37319枚となっている。

また、昨年は、青少年による事故防止と交通マナー遵守を目的に、延岡・日向地区交通安全協会を通じて、5000個の自

転車用LEDライトを贈呈するとともに、3月には門川町青少年指導会とともに町内8か所で自転車の無灯火防止指導を行った。日の落ち始めた午後6時から約1時間、各所を自転車で通過する児童・生徒に早めの点灯を呼び掛け、啓発用チラシを配布し、青色パトロールも活用している。

このほかにも西の丸では、社会福祉協議会や地域区長と連携し、高齢者や障がい者の住宅を快適な環境に保つための清掃活動を行っている。これは2005年から継続しているもので、西の丸ではこの活動を新入社員のボランティア研修に組み入れている。また、安心・安全な地域づくりを目的に、昨年は年間56回、新台入れ替え時のB4サイズチラシの裏面を活用し、飲酒運転根絶、振り込め詐欺注意、交通安全などをテーマにした告知啓発活動も行った。



新入学児童用のランドセルカバーを寄贈

